

だい
くりごはん



ぽくはくをもう

くりごはんをまたいからね

いごはんたちでかあをまた

よりしいくりごはんにたいからね

大子りん

くちのひかり

クルクルのりん

トゲトゲのりんをキーンと

つくをぬがしてあげるんだ

り、くろがいろはにまたね

よかあさいでくりがはん



中札内村立上札内小学校二年
なまえ

みづらしのすけ

子どもの詩

サイロ

①学校名

(木白)

小学校
中学校

②学 年

(1) 年

③名前 (ふりがなも書く)

お ち き ち き
戸 山 山 山
も 山 山 山

④ 詩を書いたら、次の方法で、サイロの会へ届けてください。
①担任の先生におねがいする。
②サイロの会に郵送する。
〒080-0012
さいの会事務局 行 6
さいの会事務局 行 6
③六花亭のお店の人になつたす。
(どの六花亭のお店でもOKです。)



題

「はのち はひつ」

がっつこうからかえったア

あつしはアツしかなうなうなうなう

まよふは草がりだたんだうて

みんないのうなうの

かわいそうだな

きこもちがしよんぼりしちがったんだ

でもおのびたところをきいただけ

なんだって

そあてかみのけかつめをきるみ

たいなふこしだつておもったよ

なあんたほししたよ

【詩を書く時には】

1 五感を生かす

・目で見たこと

・耳で聞いたこと

・香りや匂い

・味や舌ざわり

・手や肌で感じたこと

2 一番思い出に輝いてい
る場面注目する

3 短い言葉で、リズムよ
く書く

4 「まるで」のように
など、たとえる表現を
使う

5 落ち度が、雨のように
ふつてくる

6 気持ちを、ちがう言葉
で表現する

★書き終わったら…
・一度読み返して、文
が、だめなところが、
きいてみよう

・友達に読んでもら
う

・最後につけるとよい
(最後につけるとよい)

サイロ

①学校名

[すずらん]

小学校
中学校

②学 年

[2]

年

③名前（ふりがなも書く）

[きのしたこしよな 木下、い花]

◎詩を書いたら、次の方法で、サイロの会へ届けてください。

①担任の先生におねがいする。

②サイロの会に郵送する。

〒080-00012

帯広市西2条南9丁目6
サイロの会事務局（行） 六花亭店内

③六花亭のお店の人にわたす。
（どの六花亭のお店でもOKです。）



題

「雨の日の車」

雨の日に
車にのって
ほかの車を見ると
雨が
たきのように
車の上から
ながれおちていた。
車はいっぱいはたらいで
あせをかいているように見えに。
いつも休まず
はたらいでいる車は
すごいなあ。

【詩を書く時には】

①五感を生かす。

- ・目で見たこと
- ・耳で聞いたこと
- ・香りや匂い
- ・味や舌ざわり
- ・手や肌で感じたこと

②一番思い出に残っている場面に注目する。

③短い言葉で、リズムよく書く。

④「まるで」のように「～みたい」など、たとえる表現を使う。

（例）
・落ち葉が、雨のようにふつてくる
・なべみたいなおふろ

⑤気持ちを、ちがう言葉で表現する。

（例）
・なみだがどんどんあふれてきた
（悲しい気持ちを表わす）
・ぼくは夢中になつて友達と遊んだ
（楽しい気持ちを表わす）

⑥題名を工夫する。
（最後につけるとよい）

☆書き終わったら…

・一度読み返して、文字のまちがいなどがなか、たしかめよう。
・友だちに読んでもらって、よいところなどをきいてみよう。

子どもの詩 **サイロ** 原稿用紙

●学校名

明星小学校

●学 年

〈 3 年 〉

●名 前 〈ふりがな〉

西川 ^{みさき} 希

●自宅のでんわ番号

[]

●自宅の住所

□□□-□□□□

(9 月 14 日作)



「詩を書くポイント」

○つたえたい場めんだけを書く。
○音や話している言葉を入れよう。
○しゃべっているように書く。

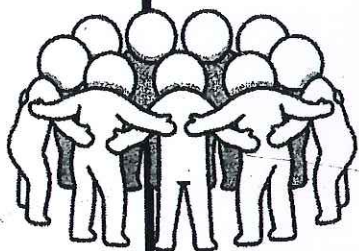
○みじかい言葉で書く。
○たとえの言葉をつかう。

タイトル

てつぼう

おのでら

たいち



しほろ
土幌小学校三年

名前

小野寺 泰一

ぼくはてつぼうが苦手

とくにヤカ上がり

たくさん練習していたら

一回だけでできた

ほ助ヤカ上がりだったけど

うれしかった

ありがとう てつぼうさん

と思たら

風がふいた

どういってしまったと言ったみたい

星はきれい

栄小学校

四年一組

小椋

さえ

キラキラ夜空に

星がたぷり

星はずとかがやきつづけ

時には人の心も

かがやかせる

星は時に月とおしゃべり

その後は

星たちといっしょに

ゆく

ゆたり

月と星はひそかにねむる

小さなぬいきをたてながら

子どもの詩サイロ原稿用紙

●学 校 名

明星小学校

●学 年

《 四 年 》

●名 前 〈ふりがな〉

善村 咲心

●自宅のでんわ番号

[]

●自宅の住所

□□□-□□□□

(月 日作)



ひまわりに残ったもの

家の畑のひまわりは

どんどん下を向いて

あこ背になつて

花びらもなくなつて

葉もなくなつて

かたこしまつたけれど

ひまわりには種が残った

その種をとつてまたうえたら

来年も家の庭はひまわり畑



ふしぎ

一年一組

島谷羽瑠姫

ふしぎなこと、

人はなぜ傷ついても

ずっと笑っているのだろうか

ふしぎなこと、

人はなぜ理由のわからない

ケンカをするのだろうか

ふしぎなこと、

人はなぜ自殺をするまで

いじめをするのだろうか

ふしぎなこと、

人はなぜ死人が出ても

戦争を続けるのだろうか

世の中には、

あんなにふしぎがある

たくさんあるな